

## 事業実施報告書

- |         |   |
|---------|---|
| 1 事業の名称 | カンボジアスタデーツアー  |
| 2 実施期間  | 平成 28 年 2 月 25 日～平成 28 年 3 月 3 日  |
| 3 実施場所  | カンボジア国内   |
| 4 実施主体  | ひろしま.カンボジア協会  |
| 5 事業の目的 | 今までに数回訪問している村の人達と交流して村の実情を視察する。また近くの小学校を訪問し、折り鶴を折り、絵本を読み平和の大切さを伝える。<br>ひろしまハウスの子供達と交流する。高校にも行きどのような教育がされているかを視察する。<br>カンボジアの歴史や文化について視察し、平和について考える。   |
| 6 実施内容  | ①ひろしまハウスの視察と交流<br>②キリングヒールドやツールスレン虐殺博物館の視察<br>③プノンペン郊外の高校を視察<br>④広島大学、エリザベト音大卒のカンボジア人と交流<br>⑤オー村で住民と交流（50人が集まった）<br>⑥小学校を訪問し絵本を贈る。また、折り鶴を折って交流<br>（200人以上の子供達が集合した）<br>⑦アンコールワット遺跡群を視察<br>⑧トンレサップ湖を視察 |
| 7 参加人数  | 11人（広島市民は8人）  |
| 8 実施効果  | 日本に留学していた人がカンボジアで活躍している事を確認した。<br>初めてツアーに参加された人にもカンボジアの歴史や現状を理解してもらえた。<br>カンボジアの多くの人達とたくさんのお話が出来て、親密感が深まった<br>次回をより効果のあるツアーにしていく気持ちが強まった。   |

(第13号様式)

## 事業実施内容及び所感文

事業名： カンボジアスタデーツアー

団体名： ひろしま・カンボジア協会

実施時期及び実施期間： 平成28年 2月25日(木)～平成28年3月3日(木) (8日間)

実施内容：

日 程	場 所	交流・協力活動名	内 容
平成28年 2月25日(木)			広島からプノンペンへ(仁川経由) 夜11時着
2月26日(金)	ひろしまハウス ハイスクール	絵本や歌やフルーツ で交流 授業参観	広島にホームステイした女性が勤務
2月27日(土)	キリングヒールドと 虐殺博物館	視察	ポルポト時代の歴史を知る
2月28日(日)	プノンペンレストラ ン マーケット	交流会を兼ねた食事 会 フランス統治時の建 物見学と買い物	広大、エリザベート音大で学んだ若者や これから留学する若者24人と交流 「国際交流の日」参加のための買物
2月29日(月)	オー村	お互いの料理を紹介	日本はうどんを、村人がナマズのから揚げやご飯を料理した。縄跳び、絵本をプレゼントした。
3月 1日(火)	ペアスピアン小学校 トレンサップ湖		折り鶴や絵本を通し平和を考える。絵本 クレパス、ボールペン、ノートを贈った 乾季と雨季で大きさが激変する湖
3月 2日(水)	アンコール遺跡群  伝統工芸職業訓練校	カンボジアの栄えた 時代を視察	古い時代大きな街が存在していた事を 理解した。クメール文化を知る。 軽い障害のある人が織物を販売、製作。
3月 3日(木)			帰国(広島に昼前に着く)
所 感	以前訪問した4年前に比べ、かなりインフラが整備されてきたが、人々の暮らしは まだまだと感じた。若者が仕事や勉強にとっても頑張っている姿は、ツアーを通し確認出 来た。将来は、彼らがカンボジアをもっと住みやすい国にしていこうと思う。日本 に対し良い印象を多くの人をもってくれ嬉しい。これからも交流を続けて行きたい。		

(第14号様式)

## 添付写真

事業名：カンボジア・スタディツアー

団体名：ひろしま・カンボジア協会

1



説明：プノンペン市内のひろしまハウスを訪問。  
フルーツ演奏や絵本を読んだり、歌を歌った。

2



説明：広大、エリザベト音大を卒業したカンボジア人とその家族とのミーティング、  
子供のいる女性はJICAを経て、音楽教室を開いている。